

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	80人
-----	-----------	----	-----	---------------	-----	------	-----

## 求める生徒像

本校普通科は、1学年で普通科目の指導に重点を置き、多様な進路目標達成のための基礎的な学力を養います。2学年からはさらに商業、農業といった専門学科の学びを取り入れた3類型を設置することで、就職にも進学にも強い人材を育成し、教養豊かな社会人・職業人としての資質を育成することに努めています。

一般就職、大学・専門学校等への進学、または公務員を目指すという明確な目標をもち、学習に積極的に取り組む、次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本学科で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
- 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的に上級学校体験会やインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
- 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒
- 5 部活動や校外活動等で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の4、5を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	➡	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース			なし	面接
<b>共通選抜</b>			40人（募集定員の50%）	I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書			5 : 5	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」				
<b>特色選抜</b>			40人（募集定員の50%）	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科…得点を1.0倍にする 3 面接 4段階評価(A~D) 合計 695点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する40人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。				

## 第二次募集（選抜方法等）

I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 英語, 社会, 理科 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 4段階評価(A~D) 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。		面接・実技・作文
		I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	食品科学科	募集定員	40人
-----	-----------	----	-----	---------------	-------	------	-----

## 求 め る 生 徒 像

本校食品科学科では食品の分析に関する実験や食品製造等の実習を通して、食品に対する知識・技術を習得させ、これらに関わる業務に従事する能力と態度を育成することに努めています。

農産加工、農業に強い興味・関心を抱き、将来地域産業の担い手として貢献しようとする意思があり、進学・就職を目指す明確な目標をもち、学習に積極的に取り組む、次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本学科で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
- 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的に上級学校体験会やインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
- 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒
- 5 部活動や校外活動等で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の4、5を重視します。

## 第 一 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		なし	面接
<b>共通選抜</b>	20人 (募集定員の50%)		I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
<b>特色選抜</b>	20人 (募集定員の50%)		
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科… 得点を1.0倍にする 3 面接 4段階評価(A~D) 合計 695点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

## 第 二 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

	面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 英語, 社会, 理科 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 4段階評価(A~D) 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	家政科	募集定員	40人
-----	-----------	----	-----	---------------	-----	------	-----

## 求める生徒像

本校家政科では生活に必要な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な役割を理解させるとともに、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることに努めています。

生活向上のための研究態度と実践力を身に付け、将来地域の生活・福祉の向上に貢献しようとする意思があり、家政・食物・保育・福祉関係への進学・就職を目指す明確な目標をもち、学習に積極的に取り組む、次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本学科で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
- 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的に上級学校体験会やインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
- 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒
- 5 部活動や校外活動等で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の4、5を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		なし	面接
<b>共通選抜</b>	20人（募集定員の50%）		I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
<b>特色選抜</b>	20人（募集定員の50%）		
I 配点 1 調査書 195点 ・国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・国語、数学、社会、英語、理科……得点を1.0倍にする 3 面接 4段階評価(A～D) 合計 695点 II 選抜方法 ・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

I 配点 1 調査書 195点 ・国語、数学、英語、社会、理科……全学年の評定を1.0倍にする ・音楽、美術、保健体育、技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・国語、数学、英語(各教科100点満点) 3 面接 4段階評価(A～D) 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。		面接・実技・作文
		I 面接 1 形態 集団面接(5人程度で編成したグループごと) 2 時間 25分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等